

⑧タマネギを育てよう

苗は太さ6～8ミリの程度を

タマネギはカレーや肉じゃがなどいろいろな料理に使われる野菜で、ほとんどの家庭が常備しているのではないのでしょうか。11月中旬から下旬に苗を植え付け、来年4月から5月には収穫できます。家庭菜園でも人気で、プランターでも楽しめる野菜の一つです。

①プランター

一般的なサイズ（約60センチ×20センチ×18センチ程度）のプランターまたは少し大きめの菜園プランターなどが良いです。

②培養土

一般的な野菜と同様に、排水が良く、有機物を多く含む土が良いです。例として、赤玉土7割、腐葉土2割、バーミキュライト1割を混合して使います。また、市販の野菜用培養土を使います。

③肥料

培養土10リットルに対し、堆肥200グラム、化成肥料10グラム、ヨウリン3グラム、苦土石灰10グラムを土とよく混合して使います。

④苗の準備

9月に種をまいて作った苗が市販されています。太さ6～8ミリの太さで、白い部分が膨らんでいない、すらっとしたものを選んでください。太すぎる苗は分球したり早く花が咲いたりします。また細すぎる苗は、成長が遅れ大きなタマネギになりにくいです。

タマネギの苗は、極早生種、早生種、中生種があり、それぞれ収穫期が異なりますので、極早生・早生種で、11月上旬頃、中生種で中下旬頃には植え付けましょう。

⑤植え付け

一般的なプランターでは、株間15センチ程度の1条植え、大きめのプランターであれば、条間を15センチ空け、2条植えてもよいでしょう。植え付けは、深植えにならないように気を付けましょう。指の第2関節くらいの深さに穴をあけ、分けつ部（葉が出ているところ）が埋まらないようにしましょう。

⑥追肥

植え付け後、2～3週間して1回目の追肥を行います。球が肥大し始める前にもう一度追肥をしますが、追肥が遅くなると病気が発生しやすくなりますので、2月下旬までには終わらせましょう。

⑦収穫

葉タマネギとして利用する場合、3月下旬から4月に収穫できます。本格的な収穫時4月以降に葉の全体が8割ぐらい倒れた頃に、晴天の日に収穫します。

（鹿児島市都市農業センター）

平成29年11月9日（木）／南日本新聞

